

# 平成 30 年度介護スキルアップ研修開催要綱

## 1 目的

超高齢社会を支える介護の担い手として、介護分野の専門職への期待が高まっています。一方で、要介護者が一人で複数の疾患に罹患していたり、重い疾患を抱えたまま介護サービスを受けるなど、高齢者の生活を取り巻く課題は多様化・複雑化しています。

本研修会は「介護現場の課題解決のためにもっと学びたい」「介護者・被介護者双方が安心して生活できるための介護の極意を学びたい」「より専門的に勉強したい」という専門職のためのスキルアップを目的に開催するものです。

## 2 主催

社会福祉法人青森県社会福祉協議会 介護啓発・福祉機器普及センター  
(〒030-0822 青森市中央 3 丁目 20-30 TEL : 017-723-1391)

## 3 場所

青森国際ホテル 2 階「春秋の間」(〒030-0801 青森市新町 1-6-18) ※研修No.1~2  
県民福祉プラザ (〒030-0822 青森市中央 3 丁目 20-30) ※研修 No.3~6  
※研修No.1~2 と No. 3~6 は研修会場が異なりますので御注意ください。

## 4 日程及び内容

別紙のとおり

## 5 対象及び定員

介護専門職員等 (別紙の内容を学びたい方であれば職種等は問いません)  
別紙のとおり

## 6 受講申込及び受講決定

- (1) 別紙申込書により、申込締切日までに FAX で当センターまでお申込みください。
- (2) 受講定員を超える場合は、原則、先着順とし主催者において調整いたします。また、同事業所・同法人から同テーマの研修へ複数名のお申込みがある場合は、参加の優先順位を御記載ください。
- (3) 受講の可否については、通知いたします。

## 7 受講料

- (1) 各回、一人 7,000 円(教材費含む)です。
- (2) 受講決定者には、後日、振込用紙を送付しますので、指定の銀行口座へお振り込みください。
- (3) 欠席した場合であっても、受講料は返還しませんので御了承ください。

## 8 受講修了証

受講修了者には各回ごとに受講修了証を付与します。

## 9 その他

- (1) 駐車スペースには限りがありますので、できる限り公共交通機関を御利用ください。
- (2) 御記入いただいた個人情報、本講座運営管理の目的のみに使用させていただきますが、必要な場合は、受講者名簿として配布させていただくこともありますので御了承ください。

## 10 申込み・お問い合わせ先

社会福祉法人青森県社会福祉協議会 介護啓発・福祉機器普及センター  
TEL:017-723-1391 FAX : 017-777-0015

【研修No. 1】

申込締切 6月15日(金)

**医療と介護の連携のためのコミュニケーショントレーニング**

内容：医療と介護の連携は一層重要視されています。介護者と医療関係者の立場と役割を理解し、医療者と対話するための視点とポイントを学びます。

日時：平成30年7月19日(木) 10:00～15:00

場所：青森国際ホテル2階「春秋の間」

定員：60名

講師：西片医療福祉研究会代表・社会福祉士 山田 美代子 氏



【講師ご紹介】山田 美代子（やまだ みよこ）氏 ルーテル学院大学大学院（社会福祉学修士）。医療ソーシャルワーカーとして病院に勤務後、西片医療福祉研究会を設立し、保健・医療・福祉・介護分野の専門職のセミナー運営や研修会講師として活動中。東京医科歯科大学および上智社会福祉専門学校、全国社会福祉協議会中央福祉学院にて非常勤講師を務めるなど多方面で活躍。

著書：『介助に必要な人間理解と制度の活用』（文光堂 2005年）『介護・福祉人材の養成開発論』（共著 勁草書房 2016）他多数。

～\*～

【研修No. 2】

申込締切 7月20日(金)

**その人らしい最期を支える看取りの介護について**

内容：看取りケアとは？看取りの動向や在宅・施設で看取る意義と意味、看取りをチームでどう支えるか？等について学びます。

日時：平成30年8月24日(金) 10:00～15:00

場所：青森国際ホテル2階「春秋の間」

定員：60名

講師：秋田大学大学院医学系研究科地域生活支援看護学講座  
教授 中村 順子 氏（地域包括ケア・介護予防研修センター長）



【講師ご紹介】中村 順子（なかむら よりこ）氏 聖路加看護大学卒業、聖路加看護大学大学院博士前期課程修了、青森県立保健大学大学院博士課程後期課程修了。専門は地域・在宅看護学で「ケアの心看護の力（秋田魁新報社 2010年）」ほか、著書・論文多数。生活の場で寄り添う介護職員の目線から語る看取りケアの在り方を明快に説く。秋田大学に設置された地域包括ケア・介護予防研修センター長を務める。また、ホームホスピスくららの家の運営（NPO 法人ホームホスピス秋田）など、誰もが幸せに最期まで自分らしく暮らせるまちづくりのため、様々な活動を行っている。

【研修No. 3】

申込締切 7月27日(金)

褥瘡予防とケア～ケアの最新情報を学ぼう！～

内容：床ずれはなぜできる？発生のメカニズムを知り、予防とケアの最新情報を学びます。講義と実技演習をとおして、褥瘡予防ケアを徹底的に学びます。

日時：平成30年9月11日(火) 10:00～15:00

場所：県民福祉プラザ2階 多目的室2A(講義会場)他

定員：40名

講師：青森中央学院大学看護学部 准教授 村山 志津子 氏



【講師ご紹介】村山 志津子(むらやま しづこ)氏 日本看護協会認定 皮膚・排泄ケア認定看護師(ET・WOC ナース)。1992年ETナースの資格を取得し、新しい褥瘡ケアの理論と方法を現場に広めた先駆者のひとり。2006年金沢大学大学院修士課程修了。トータルなケアの視点、そして予防の重要性を説き、具体的な根拠を基に「消毒・乾燥・円座」の神話を正した。多忙な現職の合間をぬって講演や執筆にも精力的に取り組んでいるが、常に現場を見据える実践家でもある。著書：『新床ずれケアマニュアル』(「在宅におけるスキンケア」の部分)を単著 日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 2017)『退院後の生活を見据えたケア 高齢者ケア』(共著 看護後術 Vol163 (12) 臨時増刊号 メジカルフレンド社 2017) 他多数。

～\*～

【研修No. 4】

申込締切 7月27日(金)

起居・移乗と福祉用具～介助の技術を変えよう～

内容：持ち上げない！腰を痛めない！福祉用具を上手に利用し、双方が安全・安心な介助動作を学びます。実技演習中心の研修です。

日時：平成30年11月15日(木) 10:00～15:30

場所：県民福祉プラザ2階 多目的室2A(講義会場)他

定員：40名

講師：福祉技術研究所株式会社代表取締役 市川 洌 氏



【講師ご紹介】市川 洌(いちかわ きよし)氏 早稲田大学工学部卒業。東京都福祉機器総合センターで福祉機器の開発研究に関する第一人者として活躍。『起居・移乗機器の市川』の異名を持つ。福祉技術研究所を設立後も相談援助、執筆活動(著書多数)、全国の介護実習・普及センター等での講演、介護現場等での製品開発等を精力的に行っている。用具の使用技術指導は「なぜそうするのか」が科学的に裏付けされ、明快。福祉用具・機器の情報・開発の専門誌「福祉介護テクノプラス」の編集長として「自分らしい生活(くらし)」を作るため、福祉用具による支援のあり方についてメッセージを送っている。

【研修No. 5】

申込締切 7月27日(金)

**持ち上げない・引きずらない起居移乗の介助動作**

内容：人の自然な動作を理解し、人に優しい安全で安楽な介助動作を学びます。  
実技演習中心の研修です。

日時：平成30年11月20日(火) 10:00～15:00

場所：県民福祉プラザ2階 多目的室2A(講義会場)他

定員：40名

講師：NPO法人動作介助研究会 事務局長・理学療法士 佐藤 幸恵 氏



【講師ご紹介】佐藤 幸恵(さとう ゆきえ)氏 理学療法士東都リハビリテーション学院卒業。病院、施設、教員経験を経て、@ (あつと) 訪問看護ステーション開設に携る。現在NPO法人動作介助研究会の事務局長として講演活動を中心に精力的に全国を飛び回る。動作介助研究会は、介助される人も、介助する人も双方が安楽にかつ安全に行える「HNA法」を提唱。HNAとは Human's Natural Action (人の自然な動作) の略。「介護＝重労働」のイメージを払拭すべく、エネルギーギッシュな講習会を展開中。

【研修No. 6】

申込締切 7月27日(金)

**持ち上げない・引きずらない起居移乗の介助動作**

内容：人の自然な動作を理解し、人に優しい安全で安楽な介助動作を学びます。  
実技演習中心の研修です。

日時：平成30年11月21日(水) 10:00～15:00

場所：県民福祉プラザ2階 多目的室2A(講義会場)他

定員：40名

講師：NPO法人動作介助研究会 事務局長・理学療法士 佐藤 幸恵 氏



【講師ご紹介】佐藤 幸恵(さとう ゆきえ)氏 理学療法士東都リハビリテーション学院卒業。病院、施設、教員経験を経て、@ (あつと) 訪問看護ステーション開設に携る。現在NPO法人動作介助研究会の事務局長として講演活動を中心に精力的に全国を飛び回る。動作介助研究会は、介助される人も、介助する人も双方が安楽にかつ安全に行える「HNA法」を提唱。HNAとは Human's Natural Action (人の自然な動作) の略。「介護＝重労働」のイメージを払拭すべく、エネルギーギッシュな講習会を展開中。

※研修No.5 と研修No.6 は同じ内容の研修を行います。

受講希望者数により主催者において調整する場合がありますので御了承ください。